

2022年6月27日

農林中央金庫

気候変動に関するアジア投資家グループ（AIGCC）およびClimate Action 100+（CA100+）への加盟について
～気候変動問題解決に向けた協働エンゲージメント活動への参画～

農林中央金庫（以下「当金庫」）は、他の機関投資家と協働して気候変動問題の解決を促す国際的なイニシアティブである「気候変動に関するアジア投資家グループ（AIGCC）」※1および「Climate Action 100+（CA100+）」※2に加盟いたしました。

気候変動をはじめとした環境・社会課題の深刻化、コロナ禍による働き方・ライフスタイル・価値観の変容など、当金庫そしてその基盤となる農林水産業を取り巻く環境は急速に変化を続けています。このような環境認識を踏まえ、2021年に当金庫は自らのパーパス（存在意義）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」と定め、SDGsの達成をはじめとするサステナブル経営を推進しています。

このパーパスの実現に向けた、2030年中長期目標として、当金庫は「農林中央金庫投融資先等のGHG排出量削減▲50%（2013年対比）」および「農林水産業者所得の向上」を掲げています。また、これらの達成に向けて2030年までに10兆円のサステナブル・ファイナンス新規実行を目指すなど、GHGの排出削減をはじめ地球レベルの課題に積極的に取り組んでいくこととしています。

当金庫としては、上記の中長期目標に基づく当金庫単独での活動に加えて、今回加盟した2つのイニシアティブを通じ、他の機関投資家と協働したエンゲージメント（建設的な対話）等に取り組むことで、投融資先等の行動変容を一層促すことができると考えています。また、脱炭素社会の実現に向けて他の機関投資家とグローバルに連携しベストプラクティスを習得することで、当金庫におけるESG投融資の取組向上にもつながると考えています。

引き続き、当金庫は、投融資先との気候変動への取組みに関するエンゲージメントを通じた低炭素・脱炭素社会の実現に向けての活動に取り組んでまいります。

※1 気候変動に関するアジア投資家グループ（AIGCC）について

・AIGCCは、気候変動や低炭素投資に関連するリスクと機会について認識を深め積極的な行動を促進することを目的としたアジア投資家向けのイニシアティブです。

・2022年6月17日時点で、世界64の金融機関が加盟しており、運用資産額（AUM）の合計は35兆米ドルを超えています。

・詳細につきましては、以下の公式ホームページ（英文）をご参照ください。

<https://www.aigcc.net/>

※2 Climate Action 100+（CA100+）について

・CA100+は、協働したエンゲージメントを通じて、気候変動への対応を求める国際的な投資家イニシアティブです。

・2022年6月17日時点で、世界約700の投資機関が加盟しており、運用資産額（AUM）の合計は68兆米ドルを超えています。

・エンゲージメント対象企業は2022年5月末時点で世界166社となっており、これらの対象企業のGHG排出量の合計は世界全体の80%以上を占めています。

・詳細につきましては、以下の公式ホームページ（英文）をご参照ください。

<https://www.climateaction100.org/>

【本件にかかるお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元）

Tel : 03-6362-7172